

自治協ニュース

第0303
発行者
八本松住民
自治協議会
R03.08.20

10月から変更を 廃棄物対策課 出前講座

広島中央エコパークのオープンに合わせ

7月17日(土)、自治協環境対策委員会(委員長 小池恵美子)は、10月から家庭ごみの分別が一部変更されることから、東広島市廃棄物対策課職員による出前講座を地域の自治会長等関係者参加のもと八本松地域センターで開催した。



参加者との質疑応答

現在、家庭ごみの処理は、賀茂環境衛生センター(西条町上三永)で行われているが、施設が老朽化してきたため、最

新鋭の機能を持つ処理施設として、また東広島市、竹原市、大崎上島町をエリアとする広域施設「広島中央エコパーク」として生まれ変わり、10月1日から供用が開始される。

今回の出前講座は、この新たな施設の利用に合わせた家庭ごみの分別方法について行われたもので市内最初の説明会。施設の説明にあたって河本さん(廃棄物対策課)は、「新たな焼却施設は、18

00度の超高温(現在は800~900度)で処理するため、今まで燃やすことができなかった埋立ごみや一部の粗大ごみも溶かすことができ燃焼後の残渣もスラック・メタルとして再利用できるため、資源循環型社会を構築できるシステム」と新たな施設の概要を説明した。

そのために、ごみの分別方法を変更する必要があり、その説明にあたって下野さん(廃棄物対策課)は、「①現在の『埋立ごみ』は、全て燃焼されるため別の分別種に組換えられ、『埋立ごみ』は廃止される。(下図) ②自治会でまとめて収集されていた『燃やせない粗大ごみ』も、燃やせるようになったものは通常のゴミステーションで収集される分別種に組換えられる。(下図)

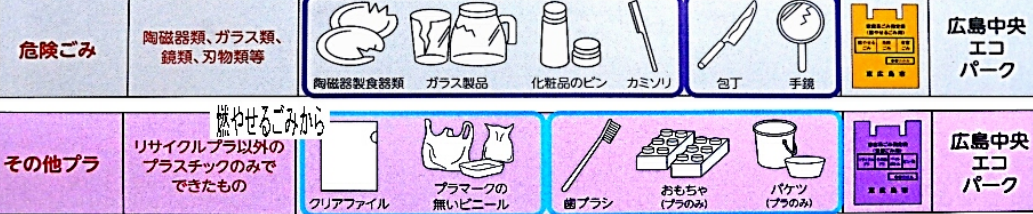
廃止される「埋立ごみ」 全てゴミステーションで収集される分別種に組替 (変更前)



大幅に変更される「燃やせない粗大ごみ」 上段のものはゴミステーションで収集される分別種に組替 (変更前)



新設される「危険ごみ」と「その他プラ」 取扱上燃やせるごみと仕分け (新設)



こうした分別の組換え等により新たに『危険ごみ』と『その他プラ』の分別種が設けられる」と最近各ご家庭に配布された『ごみブック』により要点を説明した。

参加者からは、「燃やせない粗大ごみの扱いが複雑となり、慣れるまでの移行期間が欲しい。分別基準が明確でないものがある」等多くの質問があり、今後市当局も対応を検討するとともに、各地域でもこうした出前講座を活用し、広島中央エコパークの効果的な活用を推進することとなった。

東広島市 家庭ごみの出し方パンフレットより抜粋し作成

東 広 島 市
交通安全調整会議

溝迫交差点の危険度を診断

子ども達が安心して登下校できる交差点に

見守り隊員の献身的対応にも限度が 地域の防犯パトロール隊員 要望



現地の概況を説明する土久岡会長ら地元の出席者(左10名)と調査に入った関係行政機関の出席者(右12名)(ミスターマックス八本松店屋上)



溝迫交差点歩道橋で行政機関の出席者に説明する防犯パトロール隊員



大型車の通行量が多いバイパス側(右)の横断歩道

この交差点は、最近6年間で8件の交通事故が発生している危険な交差点の一つ。また、小中学生が登下校する必須の通学路になっているが交通量の多いバイパスを横断する歩道橋がない等歩行者を守る構造的な問題もある交差点。そのため、地域の防犯パトロール隊員等子ども達の見守り隊の方々

の協力により、安全な登下校が確保されてきている。防犯パトロール隊員の方は、日頃の状況について「この交差点は毎日約70名の小学生が利用している。私たち6名の隊員は、バイパスの横断歩道の両側からドライバリーに子ども達が横断歩道を渡る合図を送り、子ども達が渡り終るまでチー

見守り隊の活動状況 (ドライバーへの合図と子どもの誘導) 平成30年11月22日「子ども安全の日」に撮影



ム全員で安全を確保している。特に、渋滞が発生する朝の時間帯は、横断歩道の中ほどまで出てドライバリーに合図を送り子ども達を誘導しなければ安全を確保できない状態だ」と実態を説明した。

また、渋滞のため横断歩道上で止まる車や歩行者信号が青でも歩行者を優先しない車、交差点付近でも徐行しない車などドライバーのマナーに起因する危険な場面も多発していること

自治協の土久岡章治会長は、「幸いにも見守り隊員の献身的な努力で子ども達をまきこむ交通事故は起きていない。地域としても犠牲者を一人でも出さない覚悟で私たちのできる安全対策を継続するが、調整会議におかれても今日の現場検討をふまえて、この交差点の安全確保にむけた対応をお願いする」と述べた。



広島方面の渋滞で交差点内に止まる車(7月30日朝7時30分頃)